

学校訪問シリーズ 82

大分市立大在中学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「主体的に学び 活用力を身につけ 共に高め合う 心豊かで たくましい生徒の育成」を達成するため、3つの方向性①主体的に学習・諸活動に取り組む学校②社会性を育む学校③健康意識と体力向上が実践できる学校 を定め、Challenge Chance Changeをスローガンとして実践を行っています。

今年度は、各生徒に考え行動させるために生徒会活動に力を入れ、校則についても一人一人に判断させています。目標やスローガンが単なる意気込みだけで終わることなく、生徒を信じて任せる実践は、資質・能力を育成するために大いに期待されます。大在中の実践から目が離せませんね！

授業から学ぶ

全27学級の授業を参観しました。拍手や笑顔あふれる温かい環境の中で、課題に向かって自然に学び合う姿から、生徒同士が個を認め合っていると感じました。

今後は、学び合い場を多く取り入れることで、「聞き上手」「チャレンジ上手」を生徒達により実感させてははいかがでしょうか。その際の教師の立ち位置については、より俯瞰的に見ることで、それぞれの学び合いの様子を評価し、次への活動に活かされるとよいと感じました。

また、本時のねらいについては、3学年のように①追究対象（～を、～について）②着眼点（～により、～を通して）③到達点（～できるようにする）の視点で書かれると、授業の評価もより明確になると感じました。

【学級掲示】生徒会の意気込み R4.10.28(臨時生徒総会にて)

今回の容儀基準は**私たち自身で考え、私たち自身で守っていく**ものです。学校に許可をもらうのではなく、**自分たちで考え判断**するようにしましょう。どのような校則が**大在中生にとってより良いものになるのかを考え**ながら学校生活を送ってほしいです。

この容儀基準の変更により、**大在中学校の風紀が乱れるようなことがあってはなりません。**今回の変更を**一人ひとりが自分で考え判断**をし、**より良い学校の雰囲気**をみんなで創っていくきっかけにしましょう。

これからは**自分で自分を律していく**ことが大切になります。自由になることが多くなりますが、**大在中生としての自覚**を持ち、『**みんなでゼン進**』していきましょう。



NO.455 2022年11月 大分市立大在中学校

接遇を学ぶ

プロの方から礼儀について学ぶ。形だけでなく、相手を大切にするというその本質について知る。



NO.458 2022年11月 大分市立大在中学校

創作する

みんなで考えると、一つにまとめるのは難しい。しかし、それぞれの良さを生かし、次第により良いものに仕上がるから楽しい。



NO.457 2022年11月 大分市立大在中学校

自分らしさ

世界に一人だけの自分だから、自分らしさを表現して、世界に一つしかない作品をつくる。



NO.456 2022年11月 大分市立大在中学校

自己決定

友達と学び合う。自分で調べる。個別最適な学びを選ぶのは生徒自身。教師は環境を用意する。